

流鏝馬(やぶさめ)有名
室生神社
 社伝によると1580年創建、のちに遷宮したとある。祭神は建御名方尊(たてみなかたのみこと)、日本武尊(やまとたけるのみこと)、菅原道真などのほかに、明治末期に無格社27祭神を合祀(ごうし)した。有名な「流鏝馬(やぶさめ)」は、県指定無形民俗文化財。11月3日の例大祭に神

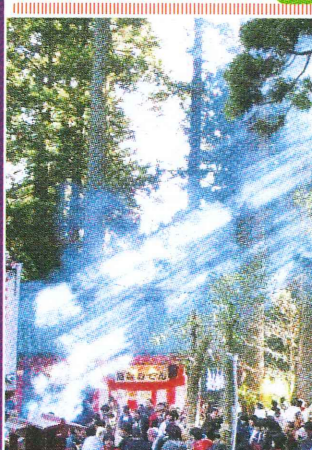
- 1 室生神社
- 2 建御名方尊、倉稲魂命、菅原別尊、日本武尊など
- 3 武勇揚揚、勝利祈願など
- 4 足柄上郡山北町山北1200
- 5 参拝は特に制限なし
- 6 なし
- 7 JR 御殿場線山北駅から徒歩10分



天狗で有名「道了さん」
最乗寺
 開創は応永元年(1394年)。地元の人は親しみを込めて「道了さん」と呼ぶ。最乗寺の守護である道了大菩薩は、寺を開山した庵慧明(りょうあんえみょう)禅師の弟子。開創に力を尽くした僧だ。ご開山遷化の翌日に天狗(てん

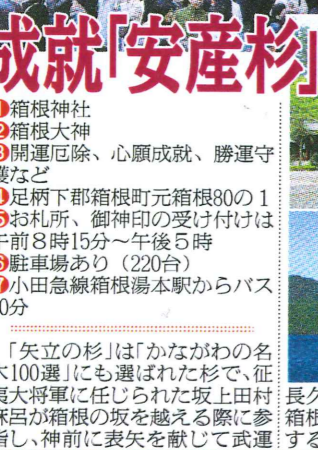
- 事として古儀に基づき行われている。かつては的の当たり矢によって翌年の稲作を占った。

- 1 大雄山最乗寺
- 2 曹洞宗
- 3 家内安全、厄災消除、受験合格、商売繁盛、初詣、七五三参り
- 4 南足柄市大雄町1157
- 5 午前6時~午後4時
- 6 無料駐車場あり
- 7 伊豆箱根鉄道大雄山駅からバス、道了尊下車



頼朝も子宝成就「安産杉」
箱根神社
 社殿が建立されたのは、奈良時代の757年。関東総鎮守箱根大権現として崇敬されてきた名社だ。境内には九頭龍神社の新宮や、首我神社など複数の神社も鎮座している。境内に立つ「安産杉」は、子孫繁栄や安産に神徳があるご神木と伝えられてきた。かつて鎌倉に幕府を興した源頼朝とその妻・北条政子も、この杉に安産を祈願して子宝を授かったといわれている。

- 1 箱根神社
- 2 箱根大神
- 3 開運厄除、心願成就、勝運守護など
- 4 足柄下郡箱根町元箱根80の1
- 5 お札所、御神印の受け付けは午前8時15分~午後5時
- 6 駐車場あり(220台)
- 7 小田急線箱根湯本駅からバス60分



「清めの石段」煩惱と同じ108
貴船神社
 7月には国指定重要無形民俗文化財の「貴船まつり」が行われる。本殿に向かう108段の石段は、煩惱の数と数で

- 1 貴船神社
- 2 大國主命、少彦名命、事代主命
- 3 家内安全、商売繁盛など
- 4 足柄下郡真鶴町真鶴1117
- 5 御神印受け付け午前8時~午後6時
- 6 駐車場あり
- 7 JR 真鶴駅からバス5分、宮の前下車

初詣は「かながわ西」へ。 「かながわ西観光コンベンションビューロー」を構成する2市8町は、海、山、川などの豊かな自然を持ち、多彩な農産物が生産され、水産物も盛ん。加えて歴史的建造物や温泉などを有し、魅力満載の地域だ。しかも、都心からの交通の便もGOOD。観光を兼ねた初詣には最適な地域。そこで「かながわ西観光コンベンションビューロー」に2024年初詣に訪れた「オススメ」の神社、仏閣を紹介しながら、新年の無病息災、平安無事などを祈願しよう。

問わずたくさんの参拝者が訪れる。ご祈祷の他、修行体験、宿泊、食事なども受け付けている。

長久を祈願したと伝わる。また箱根神社の歴史ある宝物を展示する宝物殿も見どころの1つ。

境内に立つ「安産杉」は、子孫繁栄や安産に神徳があるご神木と伝えられてきた。かつて鎌倉に幕府を興した源頼朝とその妻・北条政子も、この杉に安産を祈願して子宝を授かったといわれている。

境内に立つ「安産杉」は、子孫繁栄や安産に神徳があるご神木と伝えられてきた。かつて鎌倉に幕府を興した源頼朝とその妻・北条政子も、この杉に安産を祈願して子宝を授かったといわれている。

基本情報の見方
 1 名称 2 神社(まこと) 3 御利益 4 住所 5 営業時間 6 駐車場の有無 7 アクセス

かながわ西
 2市8町オススメ初詣スポット



樹齢850年の神木
五所神社
 霊験あらたかパワーがもらえる五所神社。正面の鳥居をくぐり、階段を上ると右側にそびえるご神木は推定樹齢850年の楠(くすのき)。その大きさと天に向かって枝を広げる姿に圧倒される。ご神木に直接触れて、神様の力を頂戴しよう。境内にあるイチョウの巨木も荘厳な雰囲気を出している。七福神の像が7体全

- 1 五所神社
- 2 天照大神など
- 3 健康、長寿など
- 4 足柄下郡湯河原町宮下359の1
- 5 御神印の受け付けは午前9時~午後5時
- 6 無料駐車場あり(少数)
- 7 JR 東海道線湯河原駅よりバスで約5分、五所神社下車

かながわ西で 観光初詣

二宮尊徳翁を祀る
報徳二宮神社
 小田原城二の丸の一角にある報徳二宮神社。小田原出身の二宮尊徳翁を祀っている。小田原の人々にとっては、大切な節目に足を運び、祈願する場所。初詣にも、長蛇の列ができ、たいへんきわむ。江戶末期に600もの村々の復興・財政再建を成し遂げた二宮尊徳翁。その功績で崇拝され、神社の神祇となった由緒から学問や経営などの御利益は有名だ。創建から結婚式も多く行われてきたことから



倭建命が東征の折に休息
寒田神社
 雰囲気良く、すがすがしい気分になれる神社。315年の創建と伝えられ、1700年の時を刻んできた。日本武尊(やまと

- 1 寒田神社
- 2 日本武尊、弟橘比売命、菅原道真、菅原別尊
- 3 災厄祓(ばら)い、金運開運など
- 4 足柄上郡松田町松田惣領1767
- 5 御神印受け付け午前9時~午後5時
- 6 なし
- 7 小田急線新松田駅から徒歩約7分、JR 御殿場線松田駅から徒歩約5分

目を引く鳥居前の社号碑
酒田神社
 1909年、創建。鳥居の前に立つ「酒田神社」と刻まれた社号碑が目を引く。石作りの鳥居をくぐると、右手に手水桶(ち



武将から「大願のかなう社」
三嶋神社
 静岡県三島市の三嶋大社から分霊を受けて約800年前に建立された。古くからの祭典と神事が現在まで伝えられ、地域

江戶後期の勇壮な山車勢揃い
五所八幡宮
 五所八幡宮では、860年以上の歴史を持つ例大祭が毎年開催される。2基の神輿(みこし)に御霊遷(みたまうつし)が行われ、江戶末期に作られた勇壮な4台の山車が勢ぞろいして神輿と御旅所に向かい、神幸祭の神事が斎行される。式典中に奉納される「鷲・龍・獅子の舞」は、東日本では数カ所にしか残っていない貴重な伝統芸能だ。フィナーレには宮入前の中村川で山車の松明(たいまつ)に照らされて行く神輿の川入りがある。

学問や経営などに御利益
報徳二宮神社
 報徳二宮神社(二宮金次郎) 経営財福、学問、開運招福 小田原市内8の10 開門時間午前6時~午後5時 駐車場あり、近隣Pもあり 小田原駅東口から徒歩15分 タクシー(小田原城隣り)



たけるのみこと)が東征の折に立ち寄り、休息したと言い伝えられる。東海道が通じる前は足柄峠を越える旅人が、安全を祈願したといわれている。松田町大行列は、この神社の祭礼行列が原形。拜殿両脇には親獅子の周りで戯れるような子獅子の狛(こま)犬がある。

ようすおけ)。そして左右の狛犬がこらみを利かせている。正面の拜殿は歴史を感じさせてくれるたたずまい。印象的なのは柱の彫刻だ。拜殿横には石碑が2台。ほかに当地出身者の戦没者慰霊碑も。神社では折年祭、新嘗祭(にいなめさい)、大祓などの祭礼が行われる。

の健勝、繁栄をお祈りするお祭りが行われている。源氏のみならず、足利氏や小田原北条氏などの武門、武将から「大願のかなう社」として崇拝を受けてきた。神奈川県の重要文化財として「薬師如来坐像」が大井町の重要文化財として「算額」が、それぞれ指定されている。

い貴重な伝統芸能だ。フィナーレには宮入前の中村川で山車の松明(たいまつ)に照らされて行く神輿の川入りがある。

境内に立つ「安産杉」は、子孫繁栄や安産に神徳があるご神木と伝えられてきた。かつて鎌倉に幕府を興した源頼朝とその妻・北条政子も、この杉に安産を祈願して子宝を授かったといわれている。

境内に立つ「安産杉」は、子孫繁栄や安産に神徳があるご神木と伝えられてきた。かつて鎌倉に幕府を興した源頼朝とその妻・北条政子も、この杉に安産を祈願して子宝を授かったといわれている。

でも人気が高い。尊徳翁の教えを知ることもできる「きんじろうカフェ」では、四季折々の風情を感じながらくつろぐこともできる。 1月16日(水)必着。発送をもって当選に代えます。いただいた個人情報は、賞品の発送以外には使用いたしません。